

授業改善への姿～積極的に取り組む職員組織を目指して～

□11/19、秋吉先生の道徳の授業を参観して、三人が自主的に授業整理会をしていました。この整理会は22日（金）の道徳教育推進教員研修会の公開授業につながります。本年度、先生方の協力で校内研修が、さらに充実してきたと実感しています。研修部が中心となり全職員が自分の役割を意識しながら取り組む、その姿勢が学力向上に向け共通の課題意識をもつことにつながり、共通認識のもと積極的に授業改善に取り組もうとする浮羽中の職員組織を支えているのだと勝手に思って感謝しています。やはり、浮羽中の学力向上への取り組みの大きな特徴の一つは、全員が課題意識を持って取り組む校内研修だと思います。全職員が課題意識を持って積極的に意見を出し合い発表することで、学力向上に向けた考え方や取り組みの共有化が図られていると思っています。学校の教育活動が活性化するには、職員の実践意欲が高まることが欠かせません。学力の向上についても、それぞれが何をどう取り組めばいいのかが焦点化され職員で共有化されることが重要です。また、取り組んだことが結果として表れることも、私たち職員のモチベーションの高揚にもつながります。私たちが職員室や学年部会で生徒の話題や授業の話を楽しく出し合い、居心地の良い学校にしていくことで、達成感をもっともっと感じられるものになると思います。頑張っていきましょう。最後に、これからも①取り組みを評価改善していく。②全職員で役割分担をしながら③組織的・計画的・意図的に④決めたことを確実に実施、この視点で検証していきましょう。



□交流授業整理会・秋吉先生～道徳教育推進教員研修会～お疲れ様でした！



11月交流授業の整理会を行いました。各グループで様々な意見を出していただきました。授業の参観体制を含め、課題もあります。でもお互いの授業を通して学ぶ点も多いと思います。学んだことはこれからの授業で活かしていきましょう。また、22日は福岡県道徳教育地域指導者研修会が行われました。各地区から24名の小中の先生方が見られました。秋吉先生の授業を参観したあと、参加者の12名（佐藤裕太先生もです）が授業に対して

指導助言をしていきました。授業の見立て（指導観、指導方法の良さや不十分さ）や授業参観の視点（どの場面で、何を見取るか）等を中心に協議が行われました。充実した研修会ができたこと、各指導主事の方々もお礼を言われて感謝していました。授業に向けて協力をしていただいた先生方、本当にありがとうございました。

□全九州中学校 進路指導・キャリア教育研究大会から

飯塚市二瀬中学校で開催されました。吉井中学校が「家庭・地域や企業等と連携したキャリア教育」で実践発表をしました。（樋口慎二郎主幹教諭）大会主題は「未来へ力強く向かう力を育むキャリア教育」です。現在、産業構造の劇的な変化、AI（人工知能）に代表される情報革新など、私たちの生活は様々な側面で多様なパラダイムが急速に転換しています。この激変する時代を生きるためには、自分の良さを認識し、自らの役割を見だし、これらを生かして、柔軟に対応しながらも、力強く社会を支えていくことができる力が求められています。21世紀中盤の社会を展望したとき、新しい時代を切り拓いていく子どもたちが、よりよい今後の社会を形成していくための資質能力を育む努力をしていく必要があります。そこで学習指導要領での基本的な考え方は以下の3点を強調しています。

- (1) 将来を担う子どもたちが未来を切りひらくための資質・能力の一層確実な育成、またその資質・能力を社会と共有・連携した社会に開かれた教育課程の重視。
- (2) 知識の理解の質の向上、確かな学力の育成。
- (3) 道徳教育、体験活動、体育・健康に関する指導の充実などを通じた豊かな心や健やかな体の育成。